

**清田の大クス**は中部随一のクスの巨木として知られ、推定樹齢は1000年とされています。昨年、一昨年とクスサン（ガの仲間）の大発生に見舞われ、4・5月には多くの若葉が食べられていました。

このため、昨年6月にはクスサンの幼虫を300匹ほど駆除しました。今後も、地域の宝である大クスを守ってまいります。

## 保全ボランティアに登録しませんか

- とき** 年2～3回 半日程度（登録者に事前連絡）
- ところ** 清田の大クス
- 内容** 草刈り、折れた枝の除去、土の掘り起こし、よしず・すだれの敷設
- 対象** どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
- 申し込み** 直接、電話、メールで、住所・氏名・年齢・電話番号を博物館（✉ museum@city.gamagori.lg.jp）へ。
- その他** 古くなったよしず・すだれを集めています。直接博物館へお持ちください。

館長の  
ひとしりとり

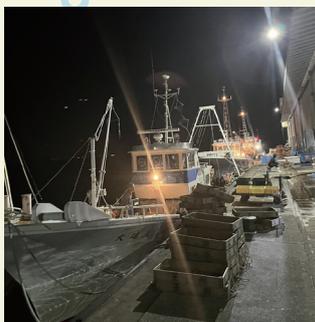


小林龍二

4月1日からの再開に向け、水族館は工事の真っ最中です。今回のリニューアルでは深海の生き物を多く展示するため、熱帯魚の環境を再現するための岩や流木といったレプリカの造形物を取り外し、深海の雰囲気にするために水槽の中の壁を黒に近い青色に塗り替えたりしています。大掛かりな展示改装工事なのでなかなか大変で、費用面でも会社の大決心で進めています。お母さん役な立場の副館長は家計のやりくりで、お父さん（館長、大丈夫でしょうか、上手くいくでしょうか、どうしましょうかとヒヤヒヤし、そんなことと言われるとお父さんもヒヤヒヤし、はたして上手くいくだろうか、いや上手く完成させなければ！とハラハラしています。失敗したら水族館が傾きますので、リニューアル再開したら皆さんぜひ来てく

ださいね。

同時に、現場の担当飼育員たちもそれぞれの持ち場でリニューアルにむけてハラハラしており、4月に担当水槽にしっかりと魚が入り展示が成り立つように悪戦苦闘しています。特に、メインである深海の生き物たちは地元の漁師さんの協力のおかげで成り立つので、夜中の帰港時間にあわせて何度も港に向かい、深海の生き物をありがたく受け取って、大切に飼育スツクして展示案を練っています。他にも新しい生き物を迎える準備や上手く展示する対策など、考えることや準備がとても多く、この時期は全員がピリピリしておりそれぞれの大きなプレッシャーと戦っています。



夜中に漁師さんから受け取った深海生物と飼育員の腕により水族館の充実度が決まります。

竹島水族館受付アルバイト募集中！詳細は電話で水族館へ。